

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
下野市	小金井地区	令和3年3月26日	令和5年3月31日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	275ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	196ha
③地区内における65才以上の農業者の耕作面積の合計	31ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	19ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	48ha
（備考）地区内において今後中心経営体以外が引き受ける意向のある耕作面積の合計	5ha

2 対象地区の課題

地区内の耕地を中心経営体の耕作面積と今後中心経営体が引き受けきる意向のある耕作面積が、地域の概ね8割の農地をカバーしているため、これら中心経営体が効率的に営農していけるよう農地を集積・集約化させる必要がある。また、アンケート調査により経営規模を拡大したい意向が確認できた小規模農家がいるため、これらの農家も地区の担い手として位置付け、営農維持の支援や集積・集約化を図る必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。また、小規模農業者のうち規模拡大志向農業者にも集積を進め、地域の農地全体における営農継続を図る。